

こんにちは! 農業普及所です!



第125号

県中農林事務所須賀川農業普及所
須賀川市花岡3 4
TEL 0248-75-2180 75-2181
FAX 0248-72-8331
E-mail sukagawa.af02@pref.fukushima.lg.jp

地域の課題解決に向けて実証を行います

露地栽培における日射制御型自動かん水装置導入による安定生産

果菜類の露地栽培では、生育が気象の変化に左右されやすく、特に近年は、高温・乾燥の影響による単位収量及び品質の低下が課題となっています。このため、高温・乾燥の条件下でも日射量の強弱に応じたかん水が可能になる自動かん水装置を導入することで、露地栽培での単位収量の向上や安定化技術を確立するため、今年度から「なす」での実証を行っています。今後、本技術の検証を進め、地域への普及を図ります。



自動かん水装置



なすの生育状況

夏秋小ぎく電照栽培における需要期安定出荷技術の実証

当地域の夏秋小ぎく栽培は季咲き栽培が中心であるため、気象の影響により、出荷期が前後しやすく、需要期の安定出荷が難しくなっています。一方、夜間に6時間電照を行うことで、開花時期を調整できる技術が開発されましたが、あまり普及が進んでいない状況です。

そこで、須賀川農業普及所では、「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」として、電照栽培の実証ほを設置し、出荷時期の調整技術とあわせて、技術導入に伴う経営所得の向上を検証して、小ぎくの需要期安定出荷技術の確立を目指します。



電照栽培の設置の様子



電照の様子

梨ジョイント栽培 拡大中

ジョイント栽培は「樹と樹をつなげる」発想を活かした早期成園化技術です。単純樹形のため、作業時の移動が直線的になり、摘果や収穫等の管理作業の省力化・効率化が可能です。平成28年度にハウス内で全長3.3m以上の大苗育苗を行い、取り組みが開始されました。定植後4年目である本年に成園化を迎え、本格的な収穫が始まります。

令和元年6月時点では、須賀川市内で生産者7名（面積約90a）がジョイント栽培に取り組んでいます。また、今年度新たにジョイント用の大苗育苗や、接ぎ木に取り組む生産者もあり、ジョイント栽培が拡大しています。



ジョイント栽培ほ場

飼料用トウモロコシを栽培してみませんか？

畜産経営では、経営コストの中でも飼料費の割合が高く、粗飼料の給与が多い牛では3～5割、濃厚飼料中心の豚・鶏では6割を占めています。近年、輸入飼料価格が高騰している状況のなか、安定的な畜産経営を行うためには、自給飼料を安定的に確保し、飼料費の低減を図ることが重要となってきます。なかでも飼料用トウモロコシは、牧草に比べて高収量であり栄養価も高いこと、牧草より多くのたい肥を施用可能なため、たい肥の滞留解消が期待されるなど、メリットが多い作物です。



飼料用トウモロコシ

平成30年度には、鏡石町で飼料用トウモロコシの2期作を実証し、牧草との2毛作に比べて収量が向上したという結果が出ています。2作目の飼料用トウモロコシでは、登熟不足がみられましたが、サイレージの発酵品質は良好であったことから、管内においても、飼料用トウモロコシの2期作に取り組むことが可能と考えられます。飼料用トウモロコシの栽培について、ご興味・ご関心がありましたら、須賀川農業普及所までお問い合わせください。

須賀川地域のGAP取得推進状況

GAP（農業生産工程管理）は、食品安全だけでなく、環境保全・労働安全などの観点から、作業の効率化や農業経営の改善を図る手法であるため、福島県ではGAPの実践・認証取得を積極的に推進しています。

須賀川農業普及所では、GAPの認証取得を希望する個人・団体に対して支援を行っており、現在、JGAP認証5件（個人2件、団体3件）とFGAP認証1件が認証取得済みです。また、現在取得に向けて活動している個人・団体も4件あり、年度内の取得を目指しています。

須賀川地域GAP認証取得状況一覧

JGAP認証 (団体)	ふくしまGAP生産者協議会(須賀川市) 夢みなみ農業協同組合すかがわ岩瀬地区野菜協議会大東支部直販部会(須賀川市) いわせの錦秋米生産部会(須賀川市)
JGAP認証 (個人)	渡辺果樹園(須賀川市) 農事組合法人グリーンファーム九生滝(平田村)
FGAP認証	内山正勝さん(天栄村)

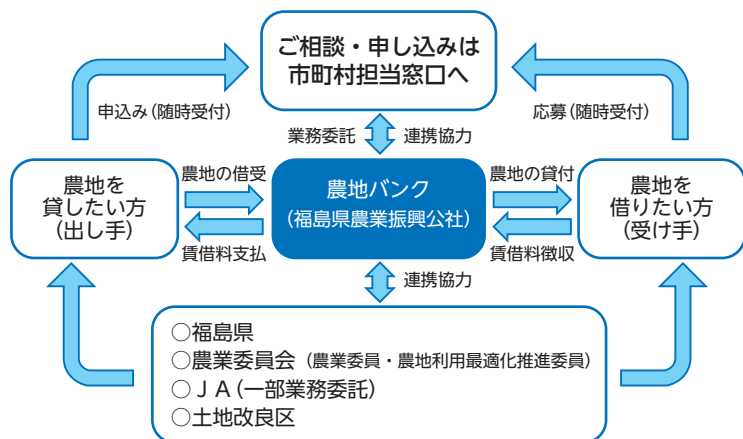
農地の貸し借りは「農地バンク」に相談を！

【農地バンク】

平成26年4月に福島県知事が「農地中間管理事業の推進に関する法律」第4条に基づき、県内唯一の「農地中間管理機構」として公益財団法人福島県農業振興公社を指定しました。「農地バンク」とは、公社が機構として活動する際の愛称です。

【農地中間管理事業】

農地バンクが、地域内の分散した農用地等を借り受け、まとまりのある形で長期間担い手に貸し付ける事業です。対象となる農用地等は、農業振興地域内の農地です。

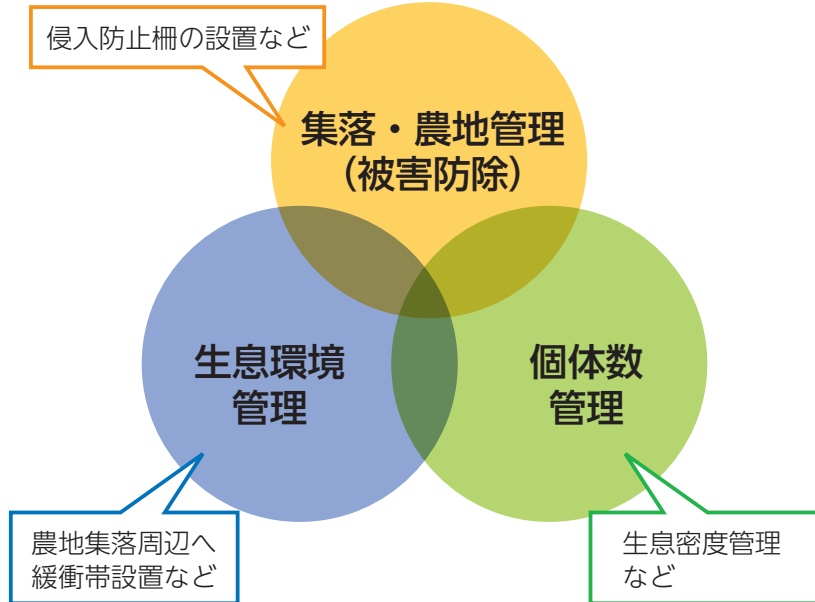


市町村	担当部署	電話番号
須賀川市	産業部農政課	0248-88-9138
鏡石町	産業課	0248-62-2118
天栄村	産業課	0248-82-2102
石川町	産業振興課	0247-26-9129
玉川村	産業振興課	0247-57-4627
平田村	産業課	0247-55-3115
浅川町	農政商工課	0247-36-1183
古殿町	産業振興課	0247-53-4613

鳥獣被害対策について

鳥獣被害の発生防止に成功している地域では、何か一つの対策に頼るのではなく、複数の対策を組み合わせることで実施しています。集落や農地に被害が出ている要因を知り、「集落・農地管理(被害防除)」「生息環境管理」「個体数管理」の複数の対策をバランスよく組み合わせることで行うことが重要です。また、鳥獣被害対策の効果を上げるには集落全体で面的な対策に取り組むことも重要となります。

皆さんも、集落で力を合わせて被害対策に取り組んでみませんか？



熱中症に注意！熱中症は命にかかわります！ 農作業中はこまめな休憩と水分・塩分補給を！

★70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらいため、
高温時の作業は極力避けましょう

★作業は2人以上で行うよう心がけ、作業内容と場所・帰る時間を
家族に伝えるようにしましょう

各種勉強会の開催のお知らせ

須賀川農業普及所では、技術・知識の向上や、仲間づくりなどを旨として、下記の内容で野菜栽培に関する各種勉強会を開催しています。詳細を知りたい方は、須賀川農業普及所までお問い合わせください。

☆勉強会等開催予定

研修会名	対象者	開催時期	開催内容
きゅうり基礎力アップ研修会	管内のきゅうり栽培経験が概ね5年以下の生産者 等	9月上旬、12月上旬	露地きゅうりの栽培管理に必要な基礎知識 等
ハウスきゅうり環境制御技術研究会	管内の環境制御技術に取り組む、または取り組む意向のある若手きゅうり栽培者 等	8月下旬、9月下旬、10月下旬、12月上旬	ハウスきゅうり環境制御技術に関する現地研修、相互の技術交流
石川地域若手農業者のための野菜栽培技術勉強会	あぶくま石川地域を中心とした若手野菜生産者 等	主に秋～春 (実施の都度チラシ等で周知)	野菜栽培に必要な知識 等

雑草イネにご注意！

「水田に姿形の違うイネが見える」「収穫物に赤米が混じる」といった経験はありませんか？こうしたイネは「雑草イネ」と呼ばれ、全国的に問題になっています。「雑草イネ」は玄米や粉の色が普通のイネと異なるため、収穫物に混ざると玄米の品質低下の原因となります。

「雑草イネ」は殆どの除草剤が効かず、穂から粉が落ちやすい性質を持ちます。このため、一度水田に侵入すると数年で地域一帯に蔓延することがあり、防除や収穫物の品質管理に多大な労力が必要となります。対策としては初期除草剤の使用や抜き取り、畑への転換などがあります。日頃からほ場を見回り、ほ場やその周辺に「変わったイネ」が生えていないか、注意を向けてください。



雑草イネ
(福島県農業総合センター撮影)

須賀川4Hクラブ会員募集中！

「4Hクラブ（農業青年クラブ）」は未来の農業を支える若手農業者を中心に組織され、農業経営をしていくうえでの身近な課題の解決方法を検討するプロジェクト活動や、地域との交流活動を行っている組織です。須賀川・石川地方でも「須賀川4Hクラブ」として、毎年、地元高校生の農家研修生受け入れや食育・花育活動、青年農業者の農業栽培技術勉強会の開催などに取り組んでいます。

須賀川4Hクラブではこれらの活動に共に取り組む仲間を募集しています。興味のある方は事務局（須賀川農業普及所）までお気軽にご相談ください。

※『4H』とは…4つの信条（Hands・Head・Heart・Health）の頭文字を総称したものです。